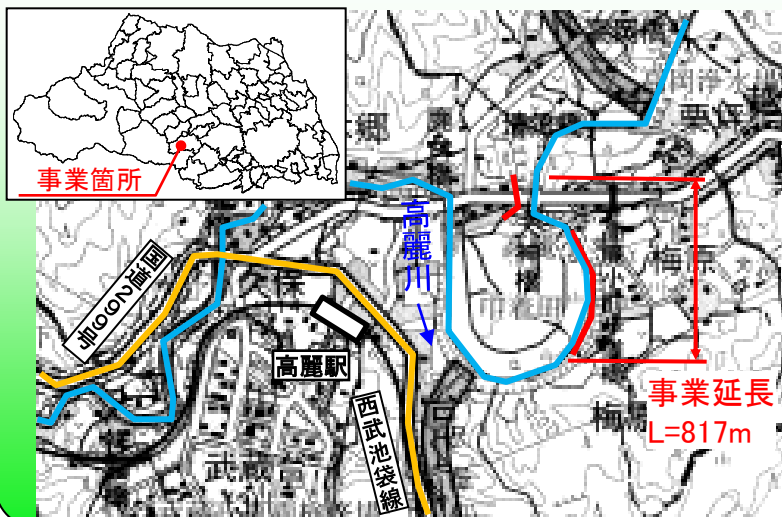


### 位置図



### 事業概要

開始年度	平成21年度
事業延長	L=817m
事業内容	床止工 N=1基
護岸工	A=362m <sup>2</sup>
根継工	L= 590m
遊歩道工	L= 165m
階段工	N= 2箇所

### 地域の声

流れ橋が整備され利便性が向上した。  
天神橋付近の遊歩道が整備され景観が向上した。

### 事業経緯

高麗川(巾着田)水辺再生検討会

- ・第1回 (H21.11.6)
- ・第2回 (H21.12.18)
- ・第3回 (H22.2.25)
- ・第4回 (H22.12.9)
- ・第5回 (H23.3.16)

測量・設計 (H21.5～H23.6)

工事 (H22.2～H23.5)

検討会メンバー

巾着田管理協議会、サポーターズクラブ、日高市、県



地域活動

- ・巾着田周辺の除草、清掃を実施
- ・曼珠沙華まつり開催(9月)

### 整備の状況



整備前



整備後

両岸を行き来することができない。

両岸を行き来できるようになり、巾着田周辺を散策できるようになった。(H22.9撮影)

治水・環境・利用の改善による、愛着高き水辺の再生

- ポイント①: 親水水辺空間の安全を守る床止工や護岸の整備
- ポイント②: 床止工による礫河原の再生と魚類の生息環境の改善
- ポイント③: 水辺を利用した安全なアクセス通路の確保

★: ビューポイント

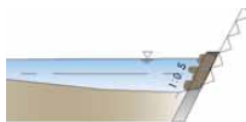
旧新井家住宅へのアクセス道

遊歩道、階段を整備し、高麗川を散策しながら旧新井家住宅へのアクセスを確保しました。また、景観に配慮し、自然石を利用します。



護岸の崩壊を防ぐ根継工

河床付近に根継工を実施することにより、護岸の崩壊を防止します。

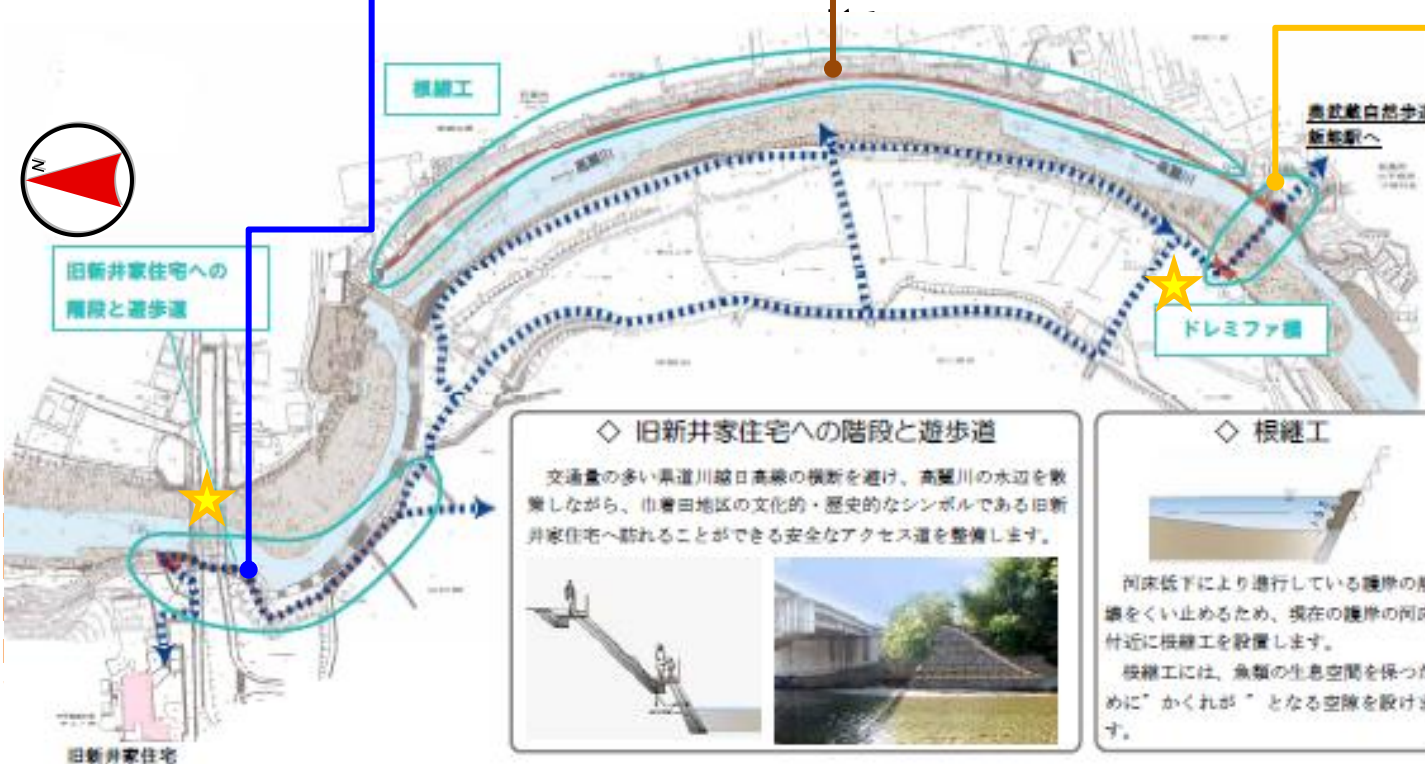


ドレミファ橋の復元

奥武蔵自然歩道へのアクセス道を復活し、高麗川を安全で快適に横断できるドレミファ橋を復元します。また、床止工を兼ねて河床の安定を図ります。



平面図



◇ ドレミファ橋



飯籠駅と市曹田との往來をスムーズにする奥武蔵自然歩道へのアクセス道を復活させるため、高麗川を安全で快適に横断できるドレミファ橋を復元します。

また、ドレミファ橋は床止工を兼ねる構造としているため、上流側の河床の低下を防ぎ、河岸の安定を図ります。さらには、礫河原を再生し魚類の生育・生息空間を創出します。



◇ 旧新井家住宅への階段と遊歩道

交通量の多い県道川越日高線の横断を避け、高麗川の水辺を散策しながら、市曹田地区の文化的・歴史的なシンボルである旧新井家住宅へ訪れることができる安全なアクセス道を整備します。



◇ 根継工



河床低下により進行している護岸の崩壊をくい止めるため、現在の護岸の河床付近に根継工を設置します。根継工には、魚類の生息空間を保持するために「かくれが」となる空隙を設けます。